



2015年度第1四半期決算の概要

2015年7月

株式会社 足利ホールディングス (東証1部:証券コード7167)

株式会社 足利銀行



➤ 第1四半期決算概要	2
➤ トップライン	3
➤ 預貸金平残・利回り	4
➤ 貸出金(末残)	5
➤ 預金等(末残)	6
➤ 個人預り資産／個人金融資産	7
➤ 有価証券	8
➤ 不良債権／与信関係費用	9
➤ 自己資本比率	10

※特に表示がないものについては「銀行単体」の計数を掲載しています。

第1四半期決算概要

《足利銀行単体損益》

(億円)	12年度 第1Q	13年度 第1Q	14年度 第1Q	15年度 第1Q	前年 同期比	進捗率 (年度ベース)	年度 予算
コア業務粗利益	184	195	197	229	+32	+28.9%	795
業務粗利益	240	213	197	236	+38	+29.6%	800
経費	135	127	123	119	△ 3	+25.5%	470
実質業務純益	105	86	74	116	+41	+35.2%	332
コア業務純益	49	67	74	109	+35	+33.8%	325
与信関係費用	11	3	△ 0	△ 12	△ 11	△ 61.1%	20
株式等損益	△ 0	29	△ 0	△ 6	△ 6	-	-
経常利益	91	110	73	121	+47	+39.7%	305
法人税、住民税及び事業税	6	4	32	26	△ 6	+28.4%	92
法人税等調整額	△ 0	0	△ 0	△ 0	+0	+0.0%	△ 22
四半期(当期)純利益	84	106	40	94	+54	+40.3%	235

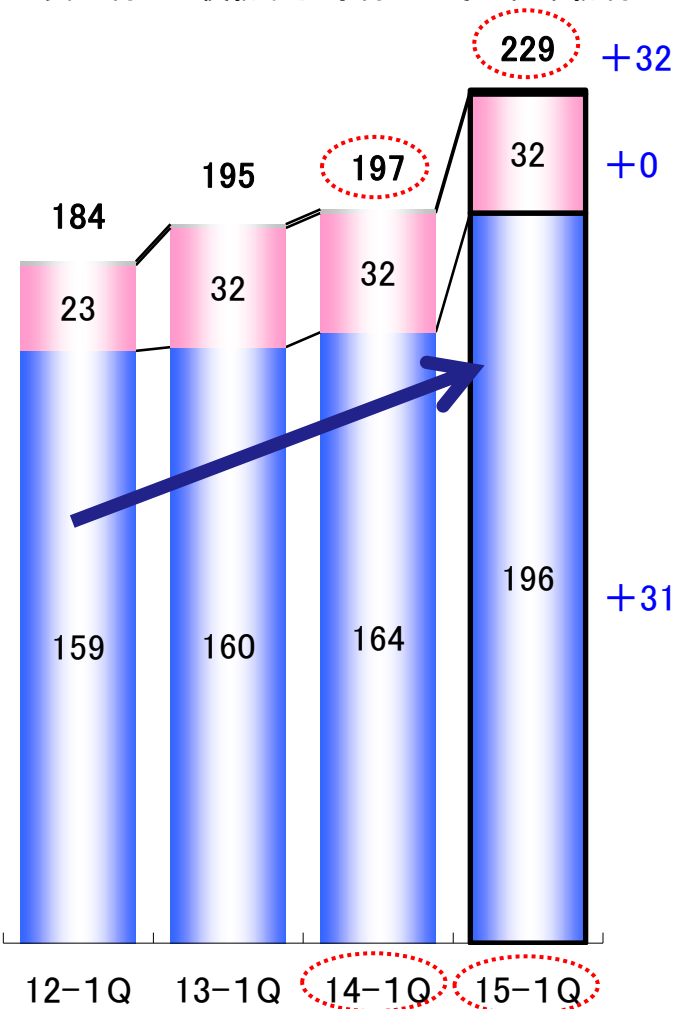
《足利ホールディングス連結損益》

(億円)	12年度 第1Q	13年度 第1Q	14年度 第1Q	15年度 第1Q	前年 同期比	進捗率 (年度ベース)	通期業績 予想
経常収益	279	276	237	287	+49	+30.2%	950
連結粗利益	243	220	205	241	+35		
営業経費	156	149	145	141	△ 3		
与信関係費用	12	6	4	△ 9	△ 13		
株式等損益	△ 0	23	△ 0	△ 6	△ 6		
経常利益	73	88	56	102	+46	+43.8%	235
法人税、住民税及び事業税	9	5	33	14	△ 19		
法人税等調整額	0	1	1	11	+9		
四半期(当期)純利益	65	81	21	77	+55	+45.3%	170

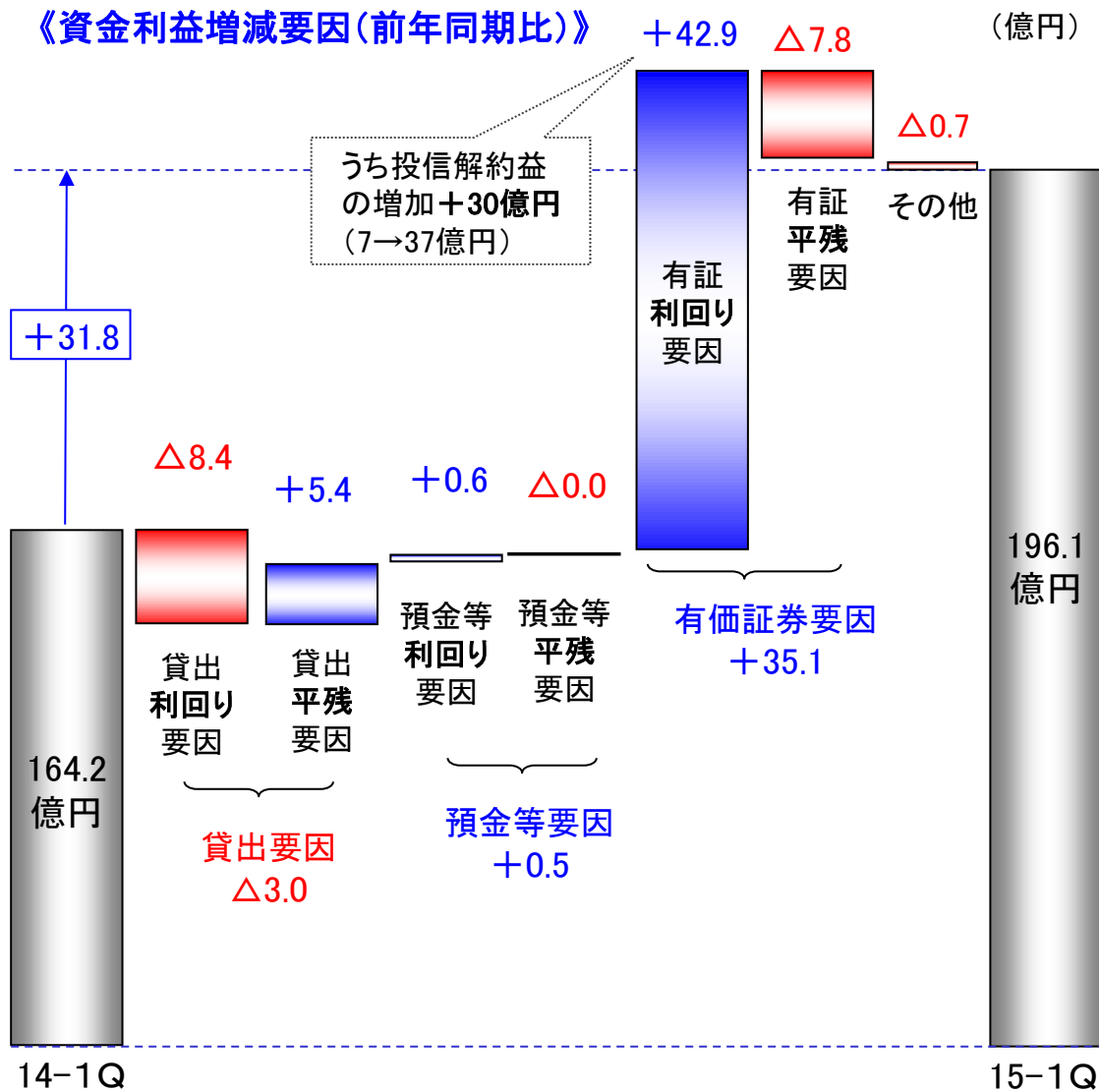
- ◆ コア業務粗利益は、前年同期比+32億円の229億円。
- ◆ うち資金利益は、前年同期比で、投信解約益を含む有価証券の利回り要因が寄与し、+31億円の196億円。

《コア業務粗利益【BK単体】》 (億円)

■ 資金利益 ■ 役務取引等利益 ■ その他業務利益



《資金利益増減要因(前年同期比)》 (億円)



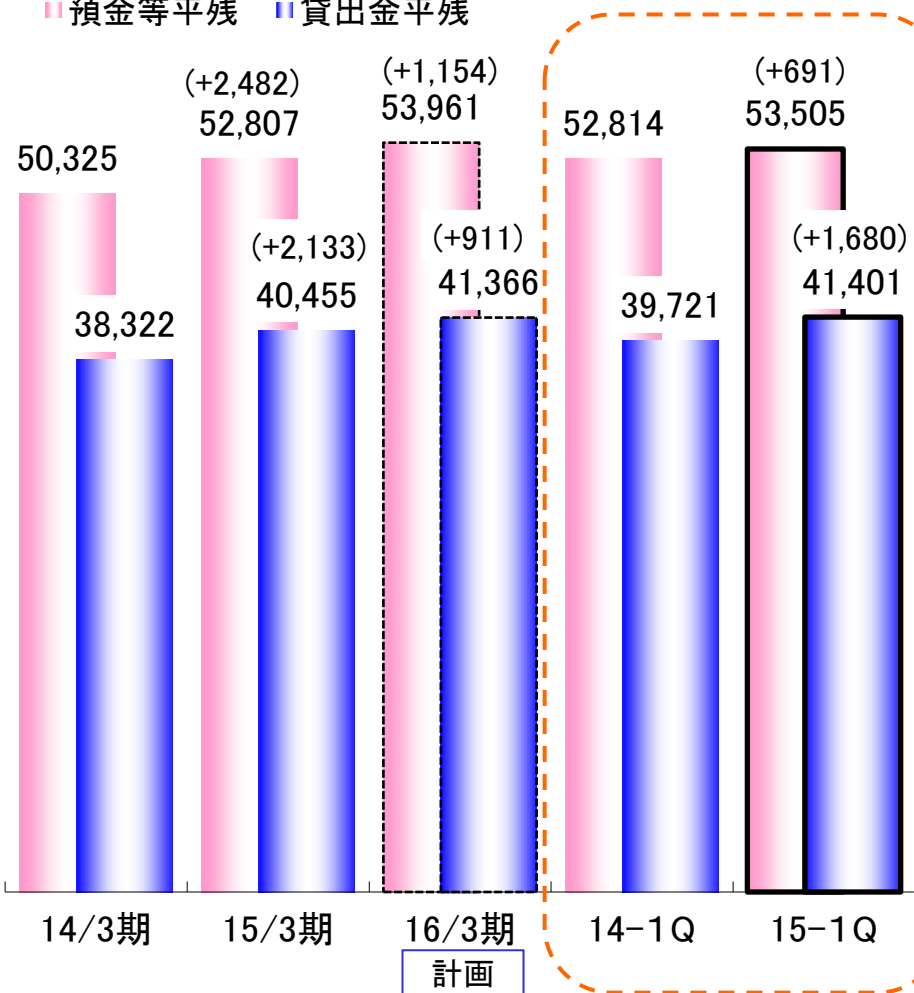
預貸金平残・利回り

◆ 貸出金、預金等とも、それぞれ順調に増加。貸出金利回りは低下が続くも、概ね見通し通りの水準で推移。

《貸出金平残・預金等平残の推移》

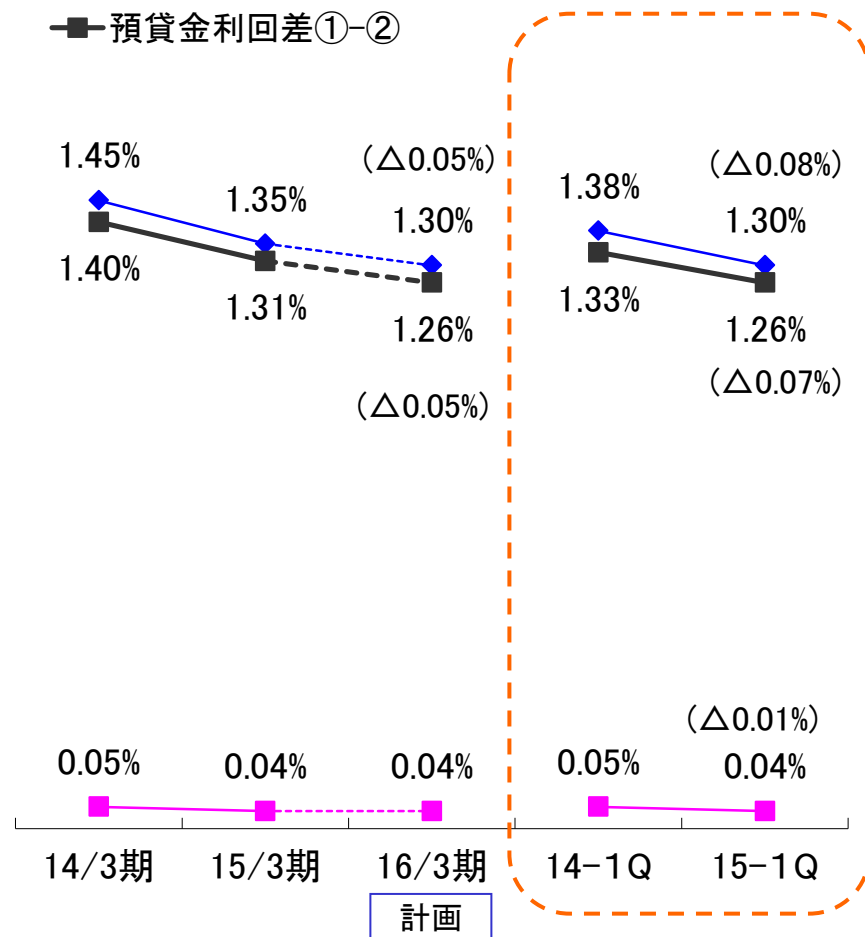
(億円)

■ 預金等平残 ■ 貸出金平残



《預貸金利回りの推移》

◆ 貸出金利回① ■ 預貸金利回差①-②



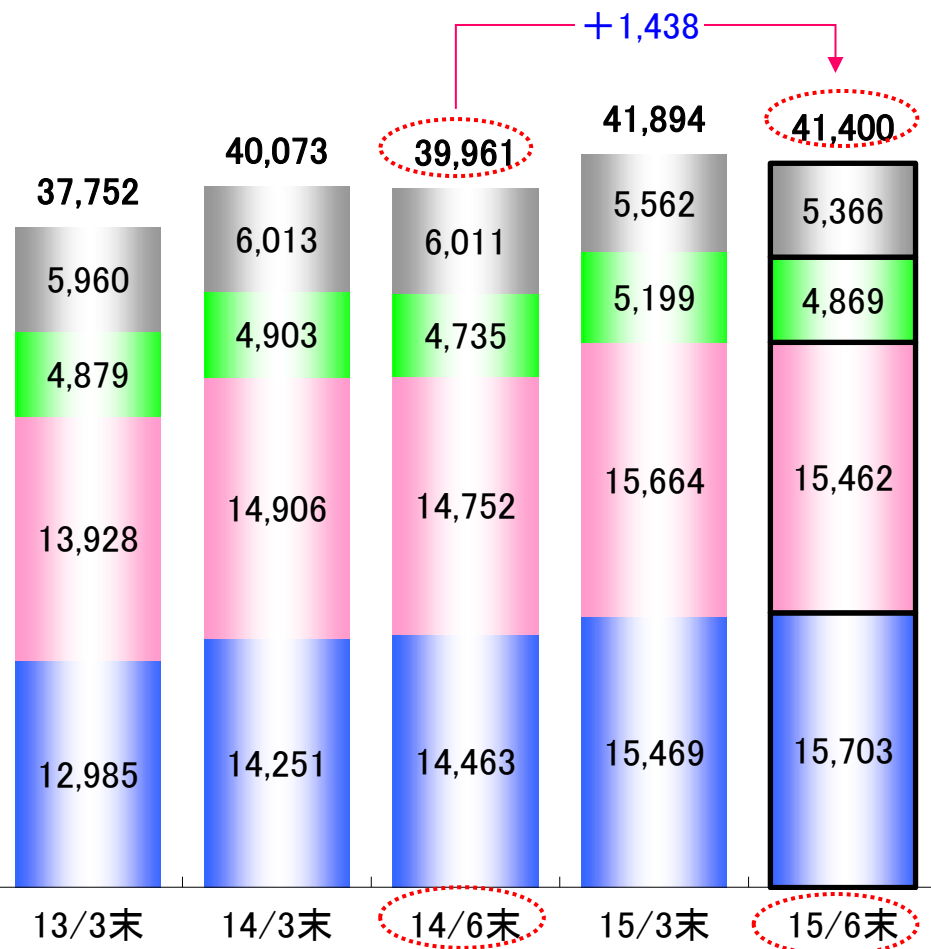
貸出金(末残)

◆ 貸出金末残は、住宅ローン、中小企業向け貸出を中心に増加し、前年同期末比+1,438億円の4兆1,400億円(年率+3.5%)。

《貸出金残高の推移(末残)》

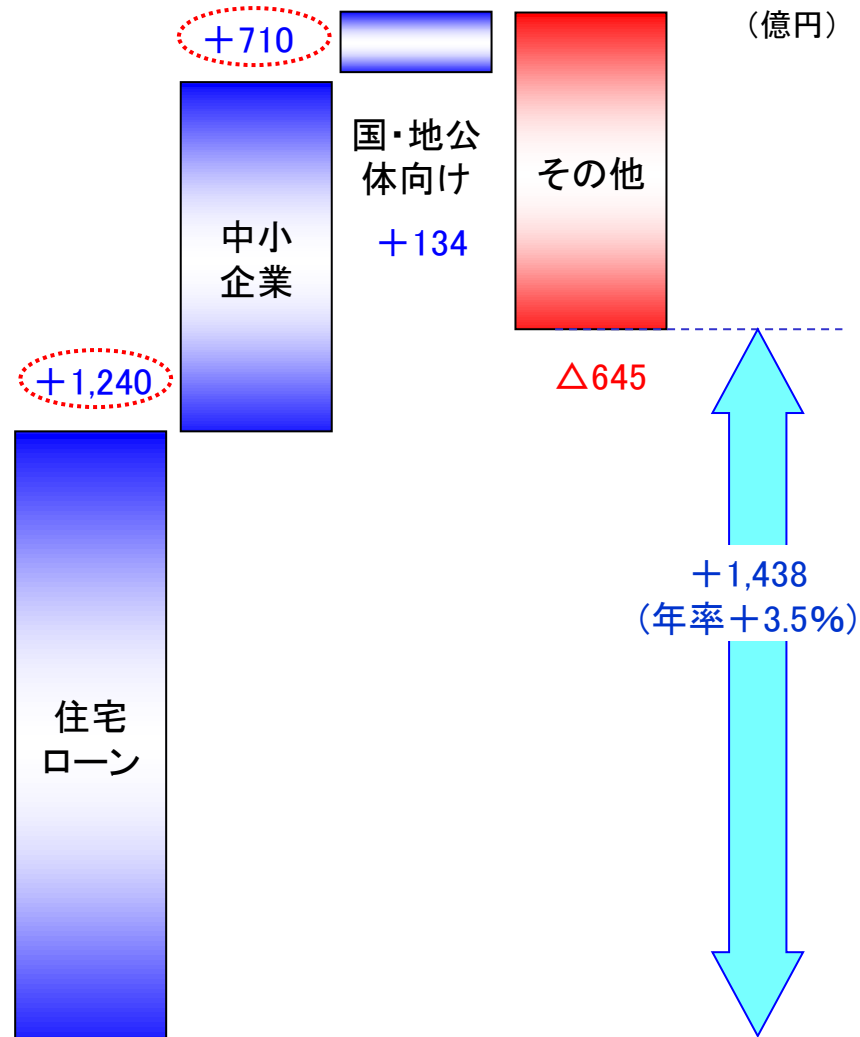
(億円)

■住宅ローン ■中小企業 ■国・地公体向け ■その他



《貸出金残高の増減内訳(前年同期末比)》

(億円)

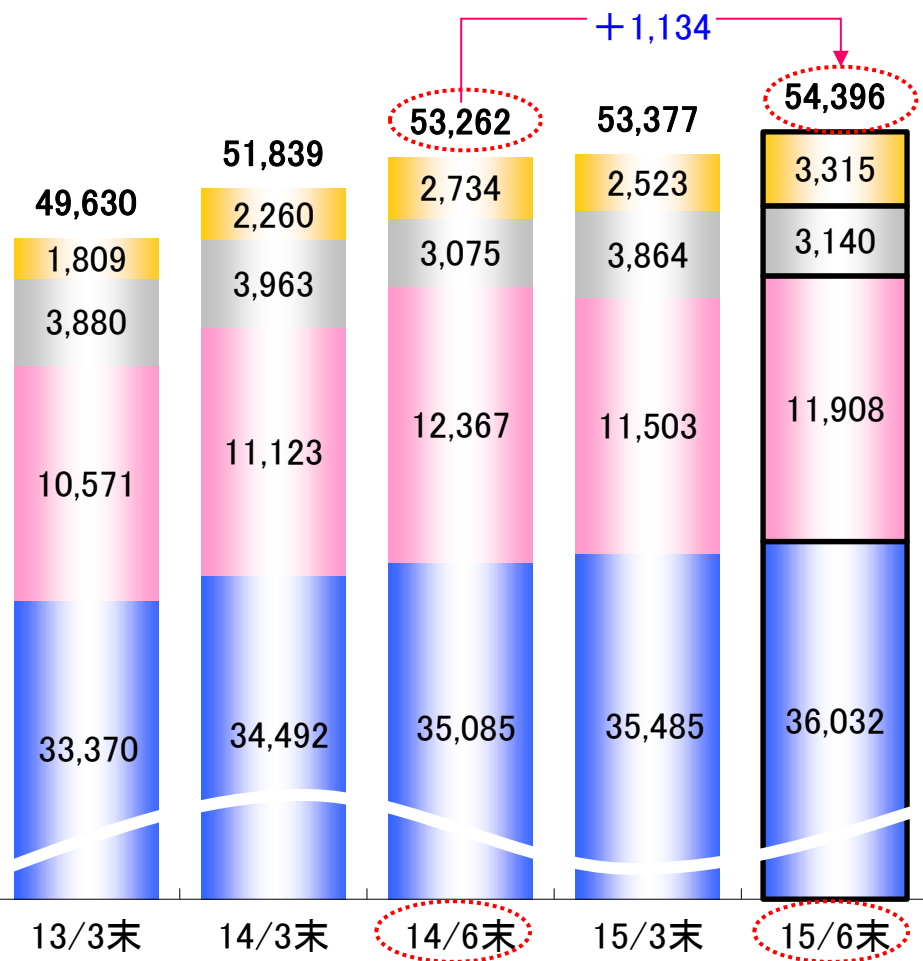


預金等(末残)

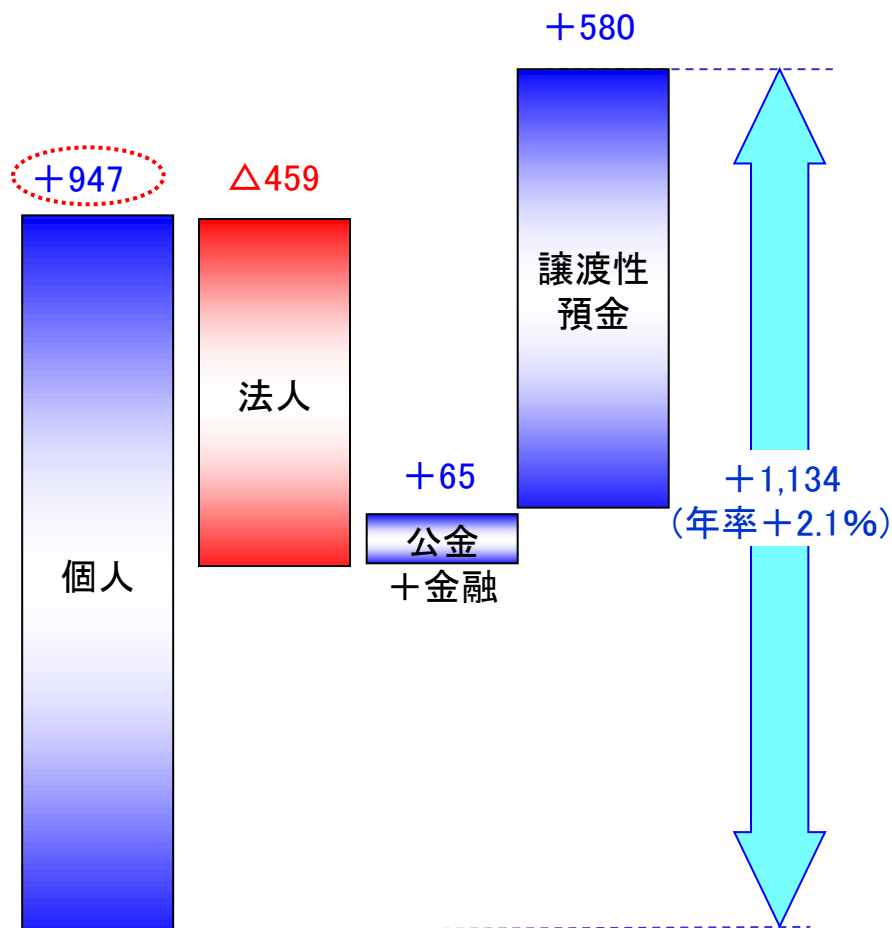
◆ 預金等末残は、個人預金が伸長し、前年同期末比+1,134億円の5兆4,396億円(年率+2.1%)。

《預金等残高の推移(末残)》 (億円)

■ 個人 ■ 法人 ■ 公金+金融 ■ 譲渡性預金



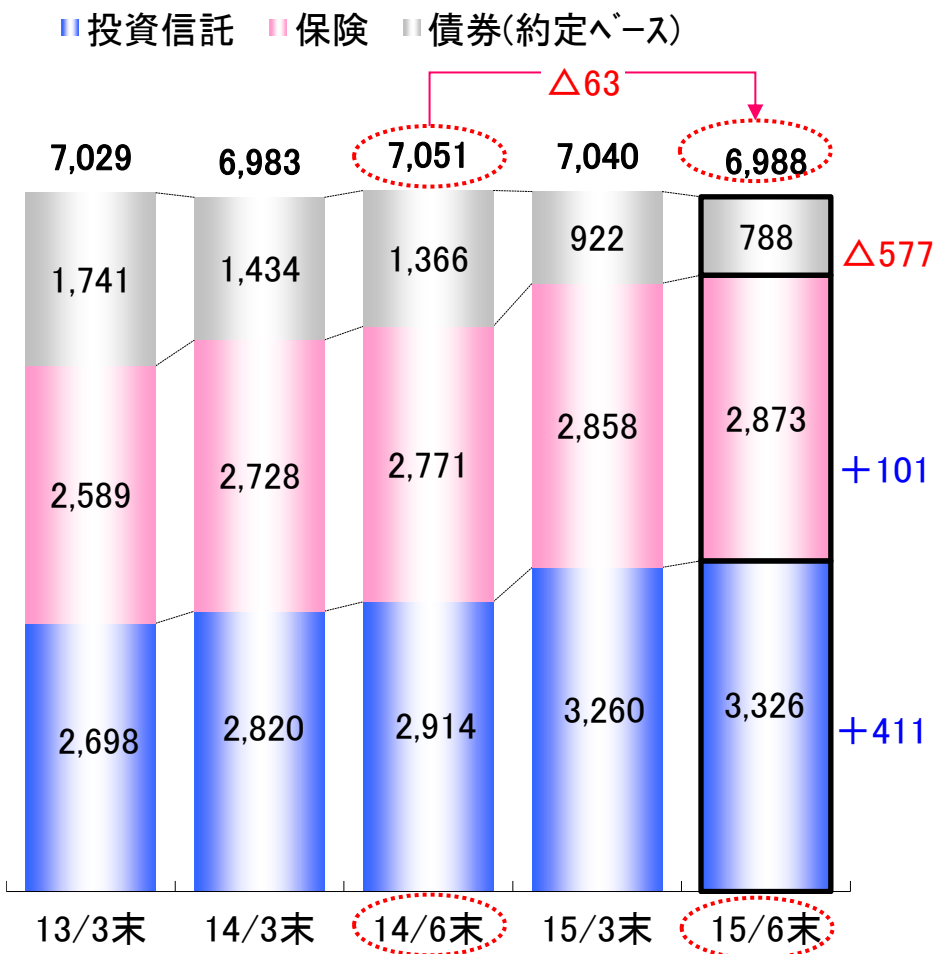
《預金等残高の増減内訳(前年同期末比)》 (億円)



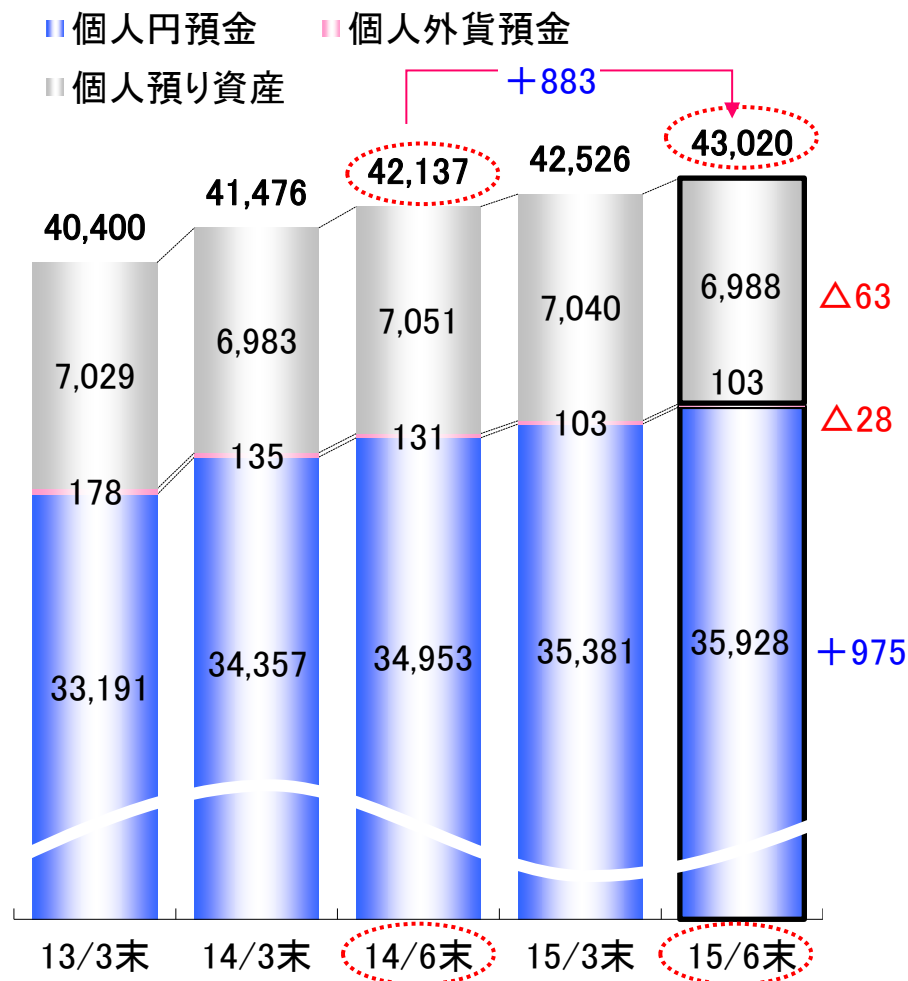
個人預り資産／個人金融資産

- ◆ 個人預り資産は、投資信託、保険残高が順調に増加。
- ◆ 個人預金と個人預り資産を合わせた個人金融資産残高は、同比+883億円の4兆3,020億円。

《個人預り資産残高の推移(末残)》 (億円)



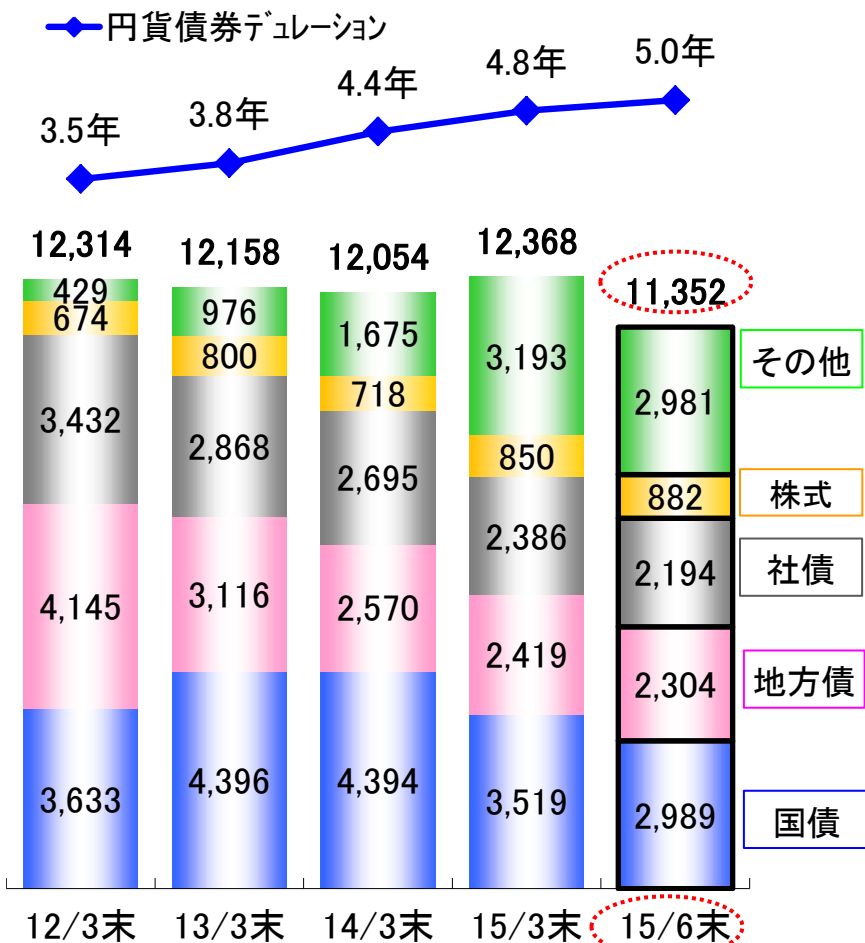
《個人金融資産残高の推移》 (億円)



有価証券

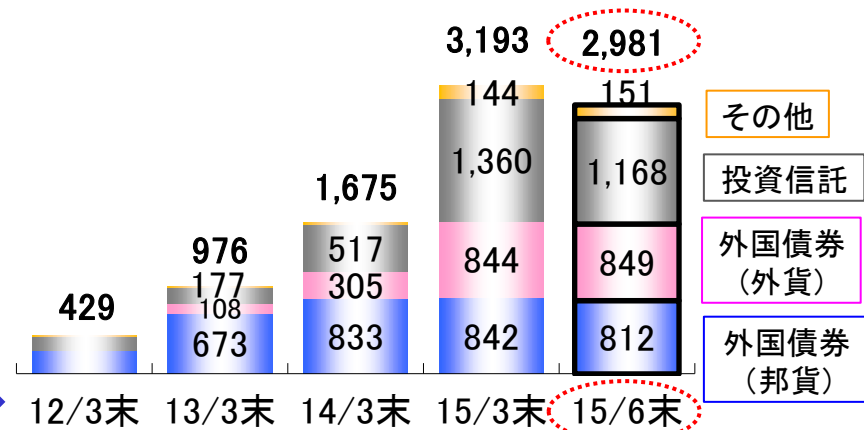
- ◆ 有価証券残高は、国債を中心に債券が減少し、前期末比△1,445億円の1兆1,352億円。
- ◆ 円貨債券のデュレーションは5.0年。

《有価証券残高(末残)》 (億円)

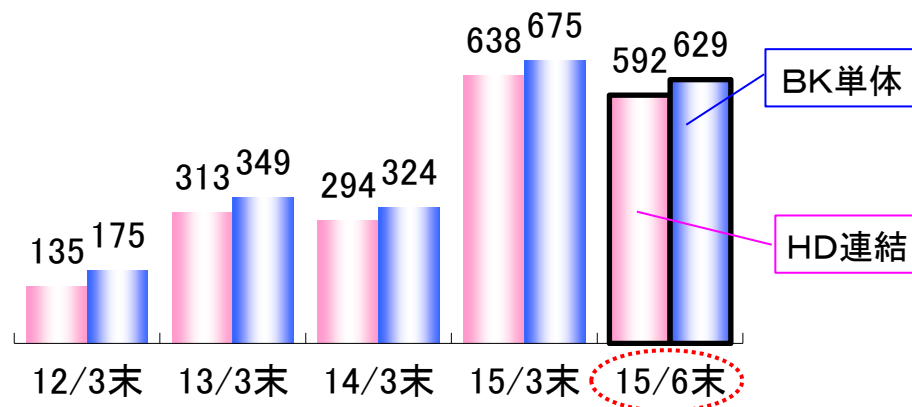


※円貨債券＝国内債券＋円建外国債券

《外国債券等残高の推移(末残)》 (億円)



《その他有価証券の評価損益(BK単体・HD連結)》 (億円)

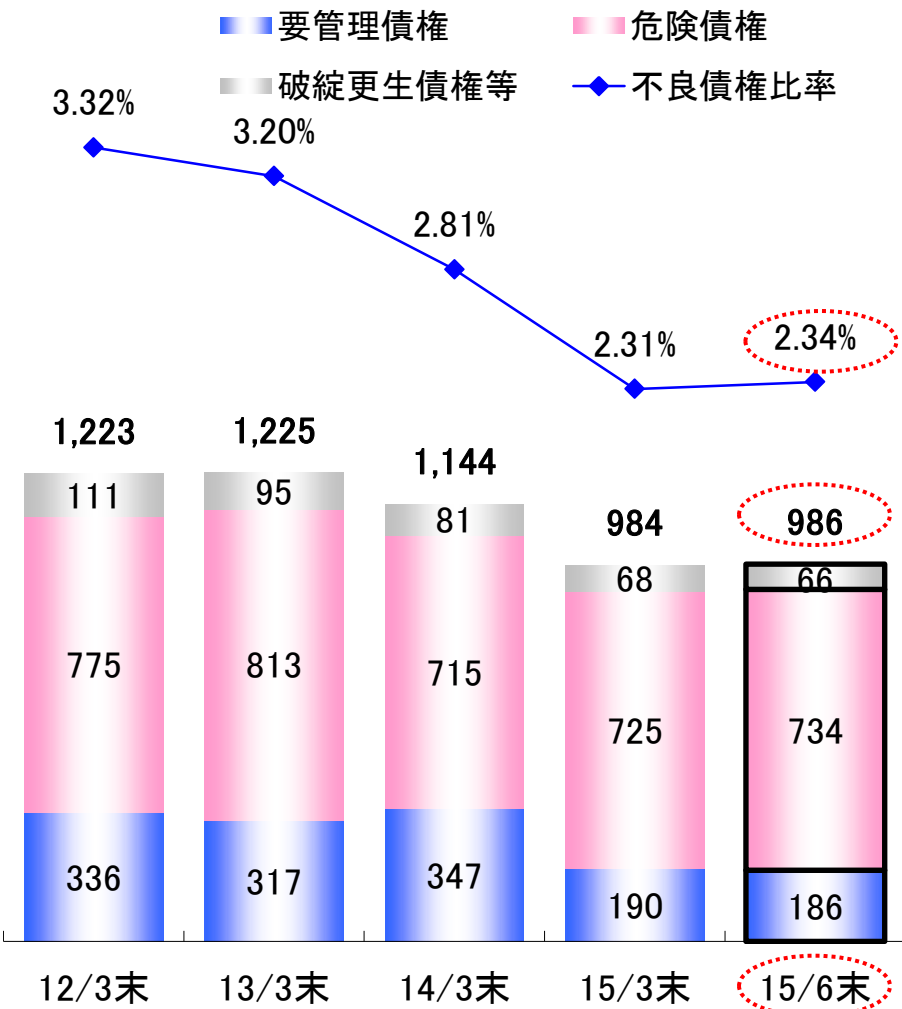


※その他有価証券＝満期保有目的以外の有価証券

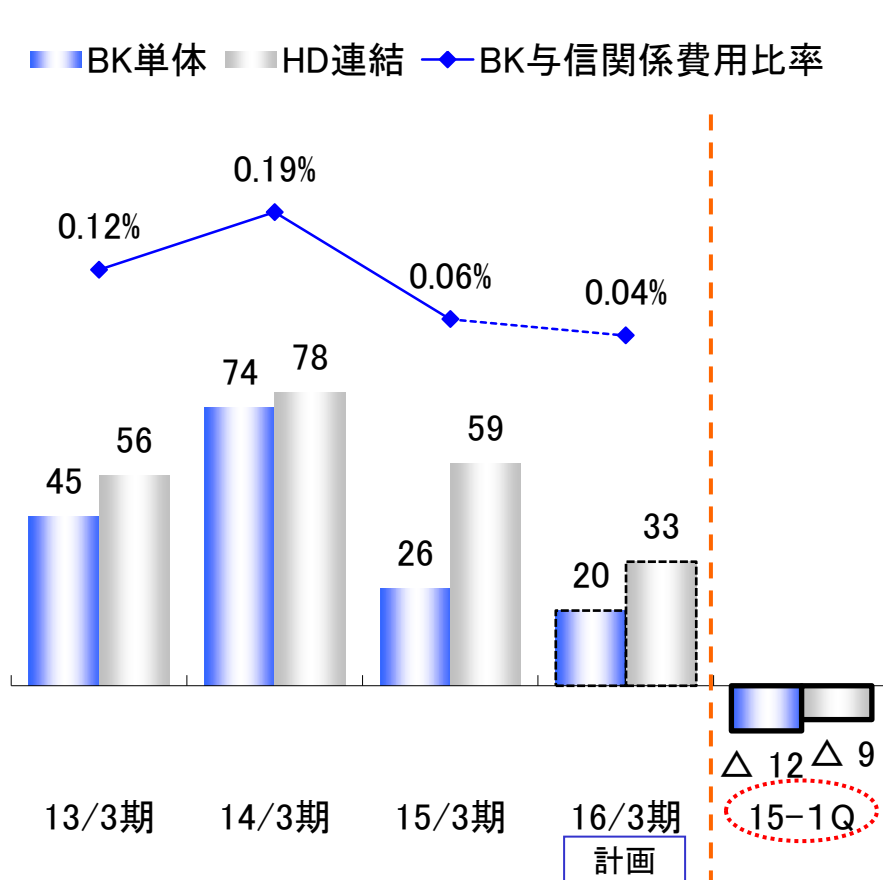
不良債権／与信関係費用

- ◆ 不良債権(金融再生法開示債権)残高は、前期末比+2億円の986億円。不良債権比率は前期末比+0.03%の2.34%。
- ◆ 与信関係費用は、貸倒引当金の戻入により、銀行単体が△12億円、HD連結が△9億円。

《金融再生法開示債権の推移》 (億円)



《与信関係費用【HD連結・BK単体】》 (億円)



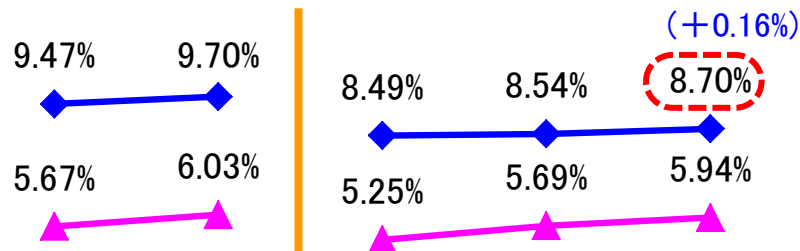
※与信関係費用比率=与信関係費用／貸出金平残

自己資本比率

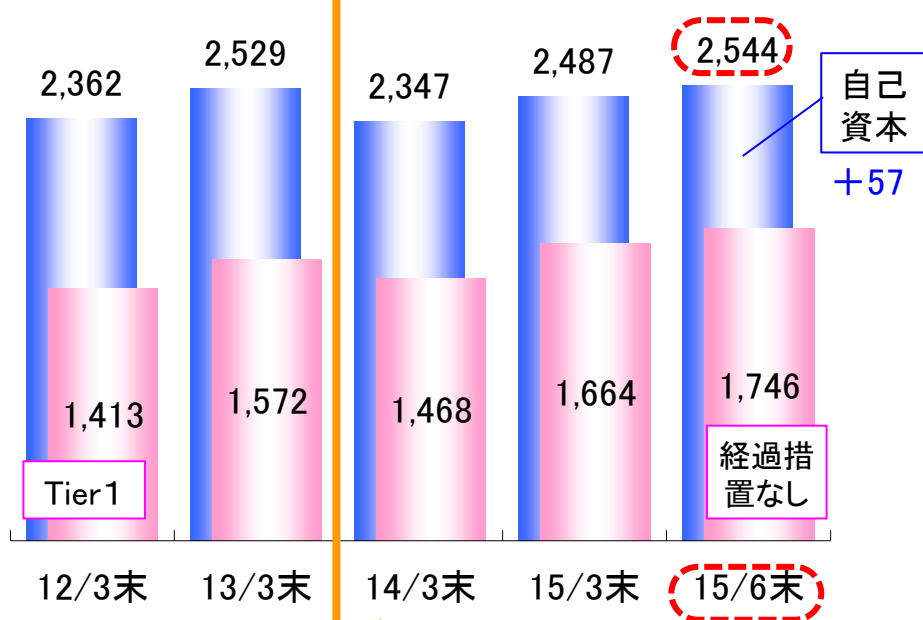
◆ 自己資本比率は、HD連結ベースが前期末比+0.16%の8.70%、BK単体ベースが同比+0.22%の8.80%。

【HD連結】

(億円)



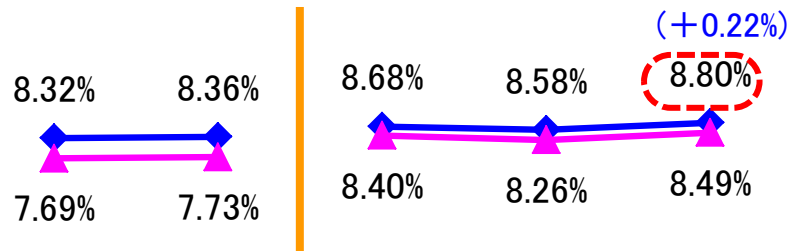
◆ 自己資本比率
◆ Tier1比率 / 経過措置なし



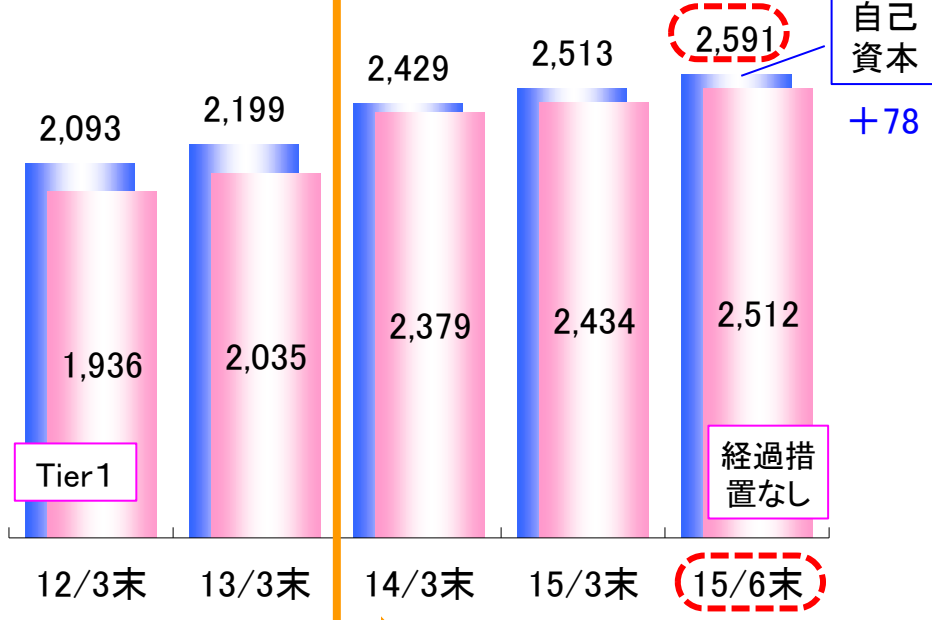
バーゼルⅢ (国内基準)

【BK単体】

(億円)



◆ 自己資本比率
◆ Tier1比率 / 経過措置なし



バーゼルⅢ (国内基準)



事前に株式会社足利ホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。